

# 抗CCP抗体

## (抗シトルリン化ペプチド抗体)

### 【プロフィール】

抗シトルリン化ペプチド抗体は、上皮細胞に存在するフィラグリンのシトルリン残基を認識する抗体です。抗CCP抗体は関節リウマチに特異性の高い抗体であり、関節リウマチの診断だけでなく、診断確定前に関節リウマチの発症を予測することもできます。抗CCP抗体陽性の関節リウマチでは骨破壊の進行が速いことも知られており、関節リウマチの治療法を決める上でも重要な検査です。

204点  
判断料144点

### 【診療報酬点数算定条件】

ア (イ) 関節リウマチと確定診断できない物に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算定できる。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては、3月に1回に限り算定できる。

なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

(ロ) (イ) とは別に関節リウマチに対する治療薬の選択のために行う場合においては、患者1人につき原則として1回に限り算定する。ただし、当該検査結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、再度治療薬を選択する必要がある場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

イ 抗CCP抗体とIgG型リウマチ因子、免疫複合体、CA・RF及びMMP-3のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できる。

\* 詳細につきましては、当検査事業部までお問い合わせ下さい。